

記入例 1 パート・アルバイト収入有(子)

扶養事実届 (検認用)

所属所名	組合員氏名
所属所コード	組合員番号
福利小学校	埼玉和夫
4 9 A 9 9 8 9 9 9 9 9	

◆ 提出の際は、様式の右上に電算用ゴム印を押印又は記入すること。

配偶者と別居・離別の場合、IVに記入してください。

I 認定対象者	氏名 (続柄)	埼玉和也 (長男)	生年月日	昭和 平成 令和 15年12月21日 (22歳)	性別	男
	居住状況	同居・別居	(別居の場合は右欄Vも記入)			女

III 組合員と同居	氏名	続柄	年齢	職業	公立学校共済組合員である場合には○	組合員本人の被扶養者である場合には○	前年1月～12月の収入額 (年額)	組合員番号
	埼玉和夫	本人 (組合員)	51	教員	○		7,800,000 円	
	埼玉好子	配偶者 (有)	48	会社員			7,400,000 円	
	埼玉和也	長男	22	学生			1,250,000 円	

◆ 扶養の実態、扶養の理由を具体的に記入して
◆ 通常の扶養義務者が他にいる場合には、その状況の記載が必要です。

過去の申告内容と相違がない場合でも、改めて現時点の状況の記載が必要です。

長男は、アルバイト収入のみであり、収入額が少ない。通常の扶養義務者である配偶者よりも私の方が収入が多いため、私が長男の生活費を負担している。

※通常の扶養義務者と離別、死別している場合は、その旨を記入してください。

※ 通常の扶養義務者とは、社会通念上、扶養第一義務を負うと考えられる者。又は、共同扶養における他の扶養義務者。

◆ 該当する項目すべてに○をしてください。

II 前年1月～12月の状況	職業	無	有	(身)
	収入の有無	無	有	(身)
	収入の種類			
	収入等の種別	有無	金額	
	公的年金	有無	0	老齢又は退職年金・遺族年金・障害年金・その他 ()
	私的年金	有無	0	名称 () (注) 企業年金・財形年金・農業者年金も含まれます。
	給与収入 (交通費含む)	有無	1,250,000 うち交通費 50,000	(注) 給与収入が120万円以上130万円未満 (※) の場合は右記交通費も記入ください。(交通費無の場合は0円と記入) ※ 障害年金を受けられる程度の障害を有する者又は60歳以上の者は、170万円以上180万円未満
事業所得等	有無	0	商業・工業・農業・漁業・その他 () (注) 原則として確定申告書及び損益計算書 (収支内訳書) の写しが必要となります。	
その他	有無	0	株等・利子・不動産・傷病手当金・その他 ()	
年間収入額 (A)		1,250,000		

収入「有」の場合は、以下のすべての収入等の有無に○をつけてください。

※通常の扶養義務者(この場合、組合員及び配偶者)の収入比較の書類を添付してください。
組合員: 源泉徴収票
配偶者: 所得証明書、受給しているすべての年金改定通知書(最新分)、確定申告をしている場合は確定申告書及び損益計算書(収支内訳書)の写し等
※配偶者が、公立学校共済組合埼玉支部の組合員である場合(任意継続組合員も含む)又は組合員の被扶養者である場合は収入比較は必要ありません。
配偶者が公立学校共済組合他支部の組合員である場合は、資格確認書の写し又はマイナポータルから印刷した「医療保険の資格情報」を添付してください。

IV 市の扶養義務	氏名	続柄	年齢	職業	公立学校共済組合員である場合には○	組合員本人の被扶養者である場合には○	前年1月～12月の収入額 (年額)	摘要
	認定対象者との	同居・別居	別居	場合、送金額			円 (C)	

※通常の扶養義務者が、Ⅲ及びⅤ以外にいる場合、Ⅳに記入してください。
例えば、子の特別認定において、配偶者と離別し別居している場合は、その者について記入してください。
その者から子に対して送金をしている場合は収入比較が必要になることがあります。
※その者が、公立学校共済組合の組合員である場合又は組合員の被扶養者である場合は収入比較は必要ありません。

組合員本人以外の送金者の状況 (有・無)		送金方法 (○で囲んでください。)	組合員本人については、送金の事実が確認できる書類 (※) の添付が必要です。(令和7年1月から令和7年12月)
円 (C)	口座振り込み 現金書留		※送金の事実が確認できる書類とは、預金通帳の写し(原則被扶養者名義のもの)、現金書留の控え等です。
円 (C)	口座振り込み 現金書留		

収入額は前年1月～12月の収入額を記入してください。
【例①】 給与<120万円
上段に給与収入+交通費の合計額を記載
下段は記載不要
【例②】 120万円≤給与
上段に給与収入+交通費の合計金額を記載
下段に交通費を記載

公立学校共済組合埼玉支部長 様

扶養の事実について上記のとおり申告します。
なお、被扶養者としての要件を欠くこととなった場合には、速やかに申告します。

令和 8年 6月 5日 住所 さいたま市浦和区高砂△-□-○
申請者 氏名 埼玉和夫

事務局処理欄						
認定対象者の収入 (A)	組合員の送金額 (B)	組合員以外の者の送金額 (C)の計	生活費負担額 (D)	総収入額 (左の計)	総収入の1/3	認定の可否

記入例 2 年金収入有(母)

扶養事実届(検認用)

所属所名				組合員氏名					
所属所コード				組合員番号					
福利小学校				福利太郎					
4	9	A	9	9	8	9	9	9	9

◆ 提出の際は、様式の右上に電算用ゴム印を押印又は記入すること。

I 認定対象者	氏名(続柄)	福利孝子 (母)	生年月日	昭和36年1月21日 (平成令和 65歳)	性別	男() 女(○)
	居住状況	同居(別居)	(別居の場合は右欄Vも記入)			

III 組合員と同居する家族	氏名	続柄	年齢	職業	公立学校共済組合員である場合には○	組合員本人の被扶養者である場合には○	前年1月~12月の収入額(年額)	組合員番号
	福利太郎	本人(組合員)	40	教員	○	○	6,800,000 円	
	福利花子	配偶者(有・無)	38	教員	○	○	6,500,000 円	123456
	福利一郎	長男	15	学生	○	○	0 円	
	福利みどり	長女	13	学生	○	○	0 円	

◆ 扶養の実態、扶養の理由を具体的に記入してください。
◆ 通常の扶養義務者が他にいる場合には、その者が扶養できない理由を具体的に記入してください。(※)

母は、年金収入のみであり、収入額が少ないため。通常の扶養義務者である父も年金収入のみのため、私が母の生活費として、毎月75,000円を送金している。

※通常の扶養義務者と離別、死別している場合は、その旨を記入してください。

過去の申告内容と相違がない場合でも、改めて現時点の状況の記載が必要です。

◆ 組合員本人以外に通常の扶養義務者がいる場合、その者について記入してください。扶養義務者についてIII、Vに記入している場合は、記入不要です。

氏名	続柄	年齢	職業	公立学校共済組合員である場合には○	組合員本人の被扶養者である場合には○	前年1月~12月の収入額(年額)	摘要
						円	

◆ 該当する項目すべてに○をしてください。
◆ 収入の有無：無()有(○) (以下に記入してください。)

収入等の種別	有無	「有」の場合の種類	金額(年額)
公的年金	有(○)無()	老齢又は退職年金・遺族年金・障害年金・その他()	900,000
私的年金	有(○)無()	名称(個人年金)	600,000
給与収入	有()無(○)	受給しているすべての年金改定通知書(最新)及び所得証明書を添付してください。	
事業所得等	有()無(○)	給与及び年金以外に収入があり、確定申告をしている場合は、年金改定通知書、確定申告書及び損益計算書(収支内訳書)を添付してください。	
その他	有()無(○)	株券・利子・不動産・傷病手当金・その他()	
年間収入額(A)			1,500,000

認定対象者に対する組合員及び他の送金者の送金額等

氏名	続柄	送金額(年額)	送金方法(○で囲んでください。)	送金の開始日
福利太郎	本人(組合員)	900,000 円(B)	口座振り込み() 現金書留() その他()	R5年12月21日

組合員本人以外の送金者の状況(有・無)

氏名	続柄	年齢	収入額(年額)	認定対象者に対する生活費負担額(D)
福利健一	父	70	1,900,000 円	200,000 円

公立学校共済組合埼玉支部長 様

扶養の事実について上記のとおり申告します。
なお、被扶養者としての要件を欠くこととなった場合には、速やかに申告します。

令和 8 年 6 月 6 日 住所 さいたま市浦和区高砂△-□-○

申請者 氏名 福利太郎

受給しているすべての年金改定通知書の写し及び所得証明書の写しを添付してください。
給与及び年金以外に収入があり、確定申告をしている場合は、上記に加え、確定申告書及び損益計算書(収支内訳書)を添付してください。

例: $(1,900,000 - 1,500,000) \times 1/2$
父の年間収入 母の年間収入
= 200,000
この例によらない場合は、実際の生活費負担額を記入してください。

記入例 3 通常の扶養義務者と離別(子)

扶養事実届 (検認用)

所属所名	組合員氏名
所属所コード	組合員番号
福利小学校	公立由香
4 9 A 9 9	8 9 9 9 9

◆ 提出の際は、様式の右上に電算用ゴム印を押印すること。

I 認定対象者	氏名(続柄)	公立利香 (長女)	生年月日	昭和 平成 令和 15年1月	性	男
	居住状況	同居・別居 (別居の場合は右欄Vも記入)				

配偶者と別居・離別の場合、IVに記入してください。

過去の申告内容と相違がない場合でも、改めて現時点の状況の記載が必要です。

組合員と同居	氏名	公立由香	続柄	本人(組合員)	年齢	46	職業	教員	収入額(年額)	5,500,000円	組合員番号	
	認定対象者との居住状況	同居	別居の場合、送金額(年額)を記入									

扶養理由

※通常の扶養義務者と死別している場合は、その旨を記載してください。
 ※通常の扶養義務者と離別している場合は、下記の2点について記載してください。
 ①離別している旨
 ②元配偶者からの送金の有無
 なお、離別している場合は、右欄IVも記入してください。

※通常の扶養義務者が、Ⅲ及びⅤ以外にいる場合、Ⅳに記入してください。
 例えば、子の特別認定において、配偶者と離別し別居している場合は、その者について記入してください。
 その者から子に対して送金をしている場合は収入比較が必要になることがあります。
 ※その者が、公立学校共済組合の組合員である場合又は組合員の被扶養者である場合は収入比較は必要ありません。

長女は、アルバイト収入のみであり、収入額が少ない。
 配偶者(夫)とは離別しており、送金も受けていないため、私が長女の生活費を負担している。

※ 通常の扶養義務者とは、社会通念上、扶養第一義務を負うと考えられる者。又は、共同扶養における他の扶養義務者。

◆ 該当する項目すべてに○をしてください。
 職業 : 無・有 (具体的に記入 アルバイト)
 収入の有無 : 無・有 (以
 収入の種別

収入「有」の場合は、以下のすべての収入等の有無に○をつけてください。

収入等の種別	有無	金額
公的年金	有(無)	0
私的年金	有(無)	0
給与収入(交通費含む)	有(無)	840,000 うち交通費
事業所得等	有(無)	0
その他	有(無)	0
年間収入額(A)		840,000

IV 通常の扶養義務者	氏名	埼玉 太郎	続柄		年齢	48	職業	会社員	収入見込み額(年額)		摘要
	認定対象者との居住状況	同居	別居の場合、送金額(年額)を記入						0円(C)		

事項	氏名	続柄	送金額(年額)	送金方法(○で囲んでください。)	送金の開始日
	本人(組合員)		円(B)	口座振り込み 現金書留 その他()	年 月 日
			円(C)	送金方法(○で囲んでください。)	
			円(C)	口座振り込み 現金書留 その他()	

◆ 認定対象者に対する組合員及び他の送金者の送金額等

収入額は前年1月～12月の収入額を記入してください。

【例①】 給与<120万円
上段に給与収入+交通費の合計額を記載
下段は記載不要

【例②】 120万円≦給与
上段に給与収入+交通費の合計金額を記載
下段は記載不要

公立学校共済組合埼玉支部長 様

扶養の事実について上記のとおり申告します。
 なお、被扶養者としての要件を欠くこととなった場合には、速やかに申告します。

令和 8年 6月 3日 住所 さいたま市浦和区高砂△-□-○
 申請者 氏名 公立由香

事務局処理欄					
認定対象者の収入(A)	組合員の送金額(B)	組合員以外の者の送金額(Cの計)	生活費負担額(D)	総収入額(左の計)	総収入の1/3
					認定の可否

記入例 4 育児休業中(子)

扶養事実届 (検認用)

所属所名	組合員氏名
所属所コード	組合員番号
福利小学校	埼玉花子
4 9 A 9 9 8 9 9 9 9 9	

◆ 提出の際は、様式の右上に電算用ゴム印を押印又は記入すること。

I 認定対象者	氏名 (続柄)	埼玉二郎 (二男)	生年月日	昭和平成 7 年 12 月 0 日	性	男
	居住状況	同居・別居 (同居の場合は右欄Vも記入)				

配偶者と別居・離別の場合、IVに記入してください。

組 居する家族	氏名	続柄	年齢	職業	公立学校共済組合員である場合には○	組合員本人の被扶養者である場合には○	前年1月～12月の収入額 (年額)	組合員番号
	埼玉花子	本人 (組合員)	30	教員	○		6,000,000 円	
	埼玉太一	配偶者 (有) (無)	33	会社員			5,500,000 円	
	埼玉一郎	長男	3	無		○		
	埼玉二							

過去の申告内容と相違がない場合でも、改めて現時点の状況の記載が必要です。

※組合員の収入は、育児休業取得前の、1年間の年額を記載してください。基準日時点で組合員が育児休業中の場合は、収入比較に関する書類は不要です。

※通常の扶養義務者と離別、死別している場合は、その旨を記入してください。

扶養理由

(※) 長男に収入はない。通常の扶養義務者である配偶者よりも私の方が収入が多く、私が長男を扶養しなくてはならない。現在、育児休業を取得中である。

育児休業取得中であることを必ず記載してください。

※ 通常の扶養義務者とは、社会通念上、扶養第一義務を負うと考えられる者。又は、共同扶養における他の扶養義務者。

◆ 該当する項目すべてに○をしてください。

IV 通常の扶養義務者

◆ 組合員本人以外に通常の扶養義務者がいる場合、その者について記入してください。通常の扶養義務者についてIII、Vに記入している場合は、記入不要です。

氏名	続柄	年齢	職業	公立学校共済組合員である場合には○	組合員本人の扶養義務者である場合には○	前年1月～12月の収入額 (年額)	摘要
						円	
認定対象者との居住状況	同居・別居	別居の場合、送金額 (年額)				円 (C)	

II 前年1月～12月の状況

◆ 収入の有無を記入してください。

収入等の種別	有無	金額 (円)
公的年金	有 (無)	老齢又は退職年金・遺族年金・障害年金・その他 ()
私的年金	有 (無)	名称 ()
給与収入 (交通費含む)	有 (無)	(注) 給与収入が120万円以上130万円未満 (※) の場合は右記交通費も記入ください。(交通費無の場合は0円と記入) ※ 障害年金を受けられる程度の障害を有する者又は60歳以上の者は、170万円以上180万円未満 うち交通費
事業所得等	有 (無)	商業・工業・農業・漁業・その他 ()
その他	有 (無)	株等・利子・不動産・傷病手当金・その他 ()
年間収入額 (A)		0

収入「有」の場合は、以下のすべての収入等の有無に○をつけてください。

V 別居扶養に関する事項

◆ 認定対象者に対する組合員及び他の送金者の送金額等

氏名	続柄	送金額 (年額)	送金方法 (○で囲んでください。)	送金の開始日
	本人 (組合員)	円 (B)	口座振り込み 現金書留 手渡し その他 ()	年 月 日
組合員本人以外の送金者の状況 (有・無)				
氏名	続柄	送金額 (年額)	送金方法 (○で囲んでください。)	
		円 (C)	口座振り込み 現金書留 その他 ()	
		円 (C)	口座振り込み 現金書留 その他 ()	
別居先の家族構成 (同居者 有・無)				
氏名	続柄	年齢	収入額 (年額)	認定対象者に対する生活費負担額 (D)
			円	円
			円	円
			円	円

◆ 送金の事実が確認できる書類 (※) の添付が必要です。(令和7年1月から令和7年12月) ※送金の事実が確認できる書類とは、預金通帳の写し (原則被扶養者名義のもの)、現金書留の控え等です。

公立学校共済組合埼玉支部長 様

扶養の事実について上記のとおり申告します。
なお、被扶養者としての要件を欠くこととなった場合には、速やかに申告します。

令和 8 年 6 月 5 日 住所 さいたま市浦和区高砂△-□-○

申請者 氏名 埼玉花子

事務局処理欄

認定対象者の収入 (A)	組合員の送金額 (B)	組合員以外の者の送金額 (Cの計)	生活費負担額 (D)	総収入額 (左の計)	総収入の1/3	認定の可否

記入例 5 無職・無収入(配偶者)

扶養事実届 (検認用)

所属所名				組合員氏名					
所属所コード				組合員番号					
福利小学校				埼玉和夫					
4	9	A	9	9	8	9	9	9	9

◆ 提出の際は、様式の右上に電算用ゴム印を押印又は記入すること。

I 認定対象者	氏名 (続柄)	埼玉好子 (妻)		生年月日	昭和42年1月21日 (平成59年1月21日)	性別	男 <input type="radio"/> 女 <input checked="" type="radio"/>
	居住状況	同居・別居 (同居の場合は右欄Vも記入)					

III 組合員と同居する家族	氏名	続柄	年齢	職業	公立学校共済組合員である場合には○	組合員本人の被扶養者である場合には○	前年1月～12月の収入額(年額)	組合員番号
	埼玉和夫	本人(組合員)	51	教員	○	○	7,800,000 円	
	埼玉好子	配偶者(有)無	48	無		○	0 円	
	埼玉和也	長男	22	学生		○	960,000 円	
							円	
							円	

◆ 扶養の実態、扶養の理由を具体的に記入してください。
◆ 通常の扶養義務者が他にいる場合には、その者が扶養できない理由を具体的に記入してください。(※)

妻は専業主婦で年金も受給していないため、私が扶養しなくてはならない。

過去の申告内容と相違がない場合でも、改めて現時点の状況の記載が必要です。

※ 通常の扶養義務者とは、社会通念上、扶養第一義務を負うと考えられる者。又は、共同扶養における他の扶養義務者。

◆ 該当する項目すべてに○をしてください。

職業：無・有 ()
収入の有無：無・有 ()
収入の種別

収入「有」の場合は、以下のすべての収入等の有無に○をつけてください。

II 前年1月～12月の状況	収入等の種別	有無	額
	公的年金	有(無)	老齢又は退職年金・遺族年金・障害年金・その他()
	私的年金	有(無)	名称() (注) 企業年金・財形年金・農業者年金も含まれます。
	給与収入(交通費含む)	有(無)	(注) 給与収入が120万円以上130万円未満(※)の場合は右記交通費も記入ください。(交通費無の場合は0円と記入) ※ 障害を受けられる程度の障害を有する者又は60歳以上の者は、170万円以上180万円未満
	事業所得等	有(無)	商業・工業・農業・漁業・その他() (注) 原則として確定申告書及び損益計算書(収支内訳書)の写しが必要となります。
	その他	有(無)	株等・利子・不動産・傷病手当金・その他()
年間収入額(A)			0

IV 通常の扶養義務者	◆ 組合員本人以外に通常の扶養義務者がいる場合、その者について記入してください。通常の扶養義務者についてIII、Vに記入している場合は、記入不要です。							
	氏名	続柄	年齢	職業	公立学校共済組合員である場合には○	組合員本人の被扶養者である場合には○	前年1月～12月の収入額(年額)	摘要
	認定対象者との居住状況	同居・別居	別居の場合、送金額(年額)				円(C)	

V 別居扶養に関する事項	◆ 認定対象者に対する組合員及び他の送金者の送金額等				
	氏名	続柄	送金額(年額)	送金方法(○で囲ってください。)	送金の開始日
		本人(組合員)	円(B)	口座振り込み 現金書留 手渡し その他()	年 月 日
	組合員本人以外の送金者の状況(有・無)				組合員本人については、送金の事実が確認できる書類(※)の添付が必要です。(令和7年1月から令和7年12月) ※送金の事実が確認できる書類とは、預金通帳の写し(原則被扶養者名義のもの)、現金書留の控え等です。
	氏名	続柄	送金額(年額)	送金方法(○で囲ってください。)	
			円(C)	口座振り込み 現金書留 その他()	
		円(C)	口座振り込み 現金書留 その他()		
別居先の家族構成(同居者 有・無)					
氏名	続柄	年齢	収入額(年額)	認定対象者に対する生活費負担額(D)	
			円	円	
			円	円	
			円	円	

公立学校共済組合埼玉支部長 様

扶養の事実について上記のとおり申告します。
なお、被扶養者としての要件を欠くこととなった場合には、速やかに申告します。

令和 8 年 6 月 5 日 住 所 さいたま市浦和区高砂△-□-○

申請者 氏名 埼玉和夫

事務局処理欄

認定対象者の収入(A)	組合員の送金額(B)	組合員以外の者の送金額(Cの計)	生活費負担額(D)	総収入額(左の計)	総収入の1/3	認定の可否